

「脱卸売宣言」 サービス業への変革を目指す 紙専門総合商社の挑戦

情報通信のデジタル化が進む中、紙・印刷業界を取り巻く環境は、めまぐるしく変化している。朝西紙商事(株) (代表取締役社長・村田國勝氏)は積極的な商品開発に取り組み、付加価値の高い紙製品を世に送り出すことで、卸売業からの脱却とサービス業への変革を目指している。産業交流展2005で大きな反響を呼んだ新商品「かんたんカード5」(特許取得)と今後の展望について村田社長に話を聞いた。



あさし
朝西紙商事 株式会社

代表取締役社長

村田 國勝氏
Kunikatsu Murata



IDカード作成キット「かんたんカード5」(特許取得)

ネスコン
ビニが台
頭。さら
に情報通
信のデジ
タル化が
紙・印刷
業界の大
きな変化

朝西紙商事は、戦前に大手紙卸売商社で従事した先代が一九四八年に創業して以来、今年で五十八年目を迎える。

「二代目として会社を守らなければならぬ」という使命感が強かった」という村田社長の言葉とおり、同社にとって、この五十八年は激動の時代であったと言える。

オイルショック後、大手印刷会社と中小零細との過当競争により、同社の取引先の廃業、倒産が相次いだ。また、八〇年代後半からは、大手資本のビジ

せた。

「今年年賀状、名刺も家庭で作れる時代。紙の販売だけではターゲットに限られる。時代のニーズに沿った事業展開のためには、脱卸売業、サービス業への変革が必要。最近では業者同士の仲介業務も増えているが、情報提供も我々の使命である(村田社長)」

半製品である紙に付加価値をつけるためには加工が不可欠である。製品化に必要な設備がなければ、同社が培ってきた信頼と人脈を活かし、他社との業務提携によりこれを実現する。また、自社製品の開発にも積極的に取り組み、紙という素材に眠る新たな可能性を探っている。

自社製品から生まれるネットワークの 拡がりモノづくりの楽しさ

昨年、東京ビッグサイト(東京国際展示場)で開催された産業交流展2005で、同社は新商品「かんたんカード5」(特許取得)を発表した。

この商品は新たに開発されたベクトルフィルムを使用したIDカード作成キットである。パソコン・インクジェットプリンター・ラミネーターで、手軽にオリジナルカードを作ることができ、その用途は身分証明書・会員カード・診察券など幅広く、コストも従来の五分の一で済む。また、作成キットの応用でエディカードの片面印刷や、

スキミング防止カード、ICチップ入りカードの作成も可能となった。

同社では新たにビジネスカード事業部を立ち上げ、特設ホームページでも受注に対応している。

これまでも、ショッピングバッグ・カレンダー・マグネットペーパー・紙ペンなどの紙製品を販売してきたが、自社製品の反響は大きかったという。

「展示会に招待した顧客の中には「朝西紙商事がこんなに画期的な自社製品を出すとは思わなかった」と驚く人もいて、それを聞いた時は感激した。長く半製品を扱ってきたが、半製品に付加価値をつけることの意義「モノづくりの楽しさ」をあらためて知った。自社製品を持つことでネットワークと可能性がさらに拡がる。新商品はそのためのものである(同)

二代目として「守らなければならぬ」という重圧をモノづくりの楽しさへと昇華させ、村田社長の挑戦は続く。同社の動向から今後も目が離せない。